

研究・調査報告書

報告書番号 76	担当 滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and risk for coronary heart disease among men with hypertension. 男性高血圧患者におけるアルコール摂取と冠疾患の関連	
執筆者	
Beulens JW, Rimm EB, Ascherio A, Spiegelman D, Hendriks HF, Mukamal KJ.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Ann Intern Med. 2007 Jan 2;146(1):10-9. Summary for patients in: Ann Intern Med. 2007 Jan 2;146(1):I35.	
キーワード	
アルコール摂取、心筋梗塞、高血圧、男性、循環器疫学	
要 旨	
<p>目的： アルコール大量摂取は高血圧のリスクを増加するが、高血圧はそれ自体、循環器疾患の強い危険因子である。しかしながら、高血圧患者におけるアルコール摂取と循環器疾患の関連を検討した報告は少ない。そこで男性高血圧患者におけるアルコール摂取が循環器疾患と負の関連を示すか否か検討する。</p> <p>方法： 男性高血圧患者 11711 人（米国、医療関係者、40-75 歳）を対象に 16 年間追跡した。追跡期間中、アルコール飲酒量を 4 年毎に食品摂取頻度調査表を用いて調査し、非致死性心筋梗塞、致死性冠疾患、脳卒中の発症を調査した。</p> <p>結果： 追跡期間中、653 人が心筋梗塞を発症した。アルコール摂取を控えている患者と比較して、アルコールを 1 日あたり 0.1-4.9g 摂取している患者が心筋梗塞をおこすハザード比は 1.09 (95% 信頼区間 (95%CI), 0.86-1.37)、1 日あたり 5-9.9g 摂取している患者では 0.81(95%CI,0.60-1.08)、10-14.9g 摂取している患者では 0.68(95%CI,0.51-0.91)、15-29.9g 摂取している患者では 0.72(95%CI,0.54-0.97)、30-49.9g 摂取している患者では 0.67(95%CI,0.48-0.94)、50g 以上摂取している患者では 0.41(95%CI,0.22-0.77)であり、1 日あたりのアルコール摂取量と心筋梗塞発症のハザード比は統計的に有意な負の関連を認めた。致死性心筋梗塞および非致死性心筋梗塞も同様の関連を認めた。一方、アルコール摂取は総死亡や循環器疾患死亡とは関連を認めなかった。アルコールを 1 日あたり 10-29.9g 摂取している患者が全脳卒中をおこすハザード比は非飲酒者に対して 1.40(95%CI,0.93-2.12)、虚血性脳梗塞をおこすハザード比は 1.55(95%CI,0.90-2.68)であった。アルコール摂取量、食品、BMI の測定誤差を補正すると心筋梗塞をおこすハザード比はアルコールを 1 日あたり 12.5g あたり 0.68(95%CI,0.46-1.00)であった。</p> <p>結論： 高血圧患者において中等度のアルコール摂取は心筋梗塞の危険性を減らし総死亡や循環器疾患死亡とは関連を認めなかった。一般住民においても男性高血圧患者は中等度かつ安全な飲酒であれば飲酒習慣をかえる必要はないかもしれない。</p>	